

## 「モノの拠点からヒトの拠点へ」

- メイプルは水沢を象徴する大規模商業施設として、市民の消費活動を支える様々な生活商品を提供して発展
- しかし、現在では商業環境が変わり、市民の消費活動は水沢駅周辺の商店街ではなくロードサイド店舗が支えている
- 将来的には人口減少が予想されており、商業テナントを多数誘致しても、消費の絶対量は大きく増えない



- 水沢駅が近く、大規模駐車場が整備されているメイプルに、主に奥州市内居住者を対象とした賑わい施設を設け、消費活動だけではない奥州市の活気を生み出すコンテンツを企画し、持続的な賑わいを創造する
- 江刺工業団地や大学等とのコラボレーションの場となることで、長期的な人材育成の場として、学術的な学びだけでなく産学連携の場を誘致することで実践的な学びを提供

利便性の高い拠点



×

賑わい



×

人材育成

